東京科学大学対横浜国立大学第一試合　星野対立川

立川は右シェイク。星野も右シェイク なのでドライブマン同士の戦い。

第1ゲーム

立川の 3球目 ドライブでスタート。あっという間に 0対5。星野のドライブが1本決まって2対5。立川の凡ミスが出て4対5まで追い上げる。お互いに3球目ドライブがあまり入らず 6対7。8対8から星野の強ドライブが入ったが惜しくも 8対9。結局サービスでほとんど取れず、 9対 11で第1ゲームを落とした。

第2ゲーム

星野のサーブでゲーム開始。緊張 からか 3球目が入らず1対3。星野4球目の良いドライブのカウンターが決まって 3対4。3対7 と離されたものの、星野のドライブが 決まりだし6対7。立川に3球目決められ6対10。星野 奮起してドライブが決まりだし、ジュースに持ち込む。星野のレシーブドライブが決まり、11対10。星野再び ドライブが決まり 13対12。そのまま押し切って14対12でとった。

第3ゲーム

星野、レシーブをうまくさばいて1対0。お互い３球目のドライブが入るようになり、4対5。星野のサービスエースで、7対8。立川に３球目決められ 、7対10。7対11で、第3ゲームを失う。

第4ゲーム

第4ゲームの出だしは星野のドライブが決まり4対1とリード。その後お互い ドライブが決まらず 5対4まで詰められる。星野のチキータレシーブ 決まり、6対5。星野の 3球目 ドライブ 決まり、 10対6。相手のミスも 誘い、11対6で第4ゲームを取り返す。

第5ゲーム

星野、サーブレシーブが安定しだし2対1とリードも、ドライブを決められ3対5でチェンジ コート。3対6となったところで、科学大ベンチはたまらずタイムアウト。タイムアウト後の1本は星野が取る。星野、上手く繋いで 6対7。横国大ベンチは、たまらず タイムアウト。星野タイム アウト後の大事な1本を取り、8対7。星野ドライブ決まり9対7。10対9から星野のサービスエース 決まり、ゲームオール9本で逆転勝ち あっぱれ。

第二試合　本坊対大長

大長は横国大の主将で、右シェークドライブマン。

第1ゲーム

立ち上がりから本坊のサーブ、3球目冴え、大長のカット打ち、ツッツキミスもあり、5対1とリード。

その後も危なげない試合運びで8対4、11対６で本坊先取。

第2ゲーム

立ち上がり0対2とリードを奪われるが、その後攻撃が次々決まり逆転し、6対3となったところで横国大がタイムアウト。

再開後、大長のドライブが決まり7対7となる。

本坊の3球目で9対7とリードを奪うも、相手のネットインと本坊のサーブミスでジュースとなる。

ジュース後は相手のミスが続き、このセットも12対10で本坊が奪う。

第3ゲーム

本坊のサーブから始まり、2対0とリードを奪う。

レシーブミス、相手の3球目などで3対5と逆転されるが、サーブ、反撃などで7対5と再逆転。

その後も危なげない試合運びで、11対7でこのゲームを取り、本坊勝利。

第三試合　ダブルス　本坊・小濵対大長・梅基

梅基は、中ペンドライブで裏面も裏ソフトで攻撃。

第1ゲーム

立ち上がりは科学大ペアの攻撃が冴え、3対1とリードを奪う。

その後一進一退で7対5となるが、相手の攻撃などで7対7と追い付かれ、点の取り合いで9対9。

ここで、科学大ペアのミスが続き、このセットを9対11で落とす。

第2ゲーム

このセットも出足は3対1とリードするが、相手の反撃もあり5対5と追い付かれる。

ここで、小濱がドライブをしっかり決めて7対5とリード。

9対7から相手のスマッシュを本坊が前陣で粒高スーパーブロックで返し、10対7。

最後は相手のミスで11対8と科学大が取り返す。

第3ゲーム

このセットも立ち上がりは科学大が3対1とリードするが、4対4と追い付かれる。

ここから科学大の攻撃が次々決まり、このセットは11対6で科学大が奪う。

第4ゲーム

このセットも立ち上がりは3対1とリードを奪うが、科学大は攻撃ミスもあり波に乗れず5対3、7対5と一進一退。

その後、科学大のミスと相手の3球目で7対8と逆転されるが、ラリー戦を制し、10対9と逆転。

ここで、本坊のカットを打ち抜かれジュースに。

最後は相手にミスが出て。12対10で科学大が勝利を決める。

東京科学大学対横浜国立大学第四試合　吉田対瀬山

吉田は今流行りの８角ラケット。

第1ゲーム

瀬山の3球目が入り、吉田は1対4と苦しい 出だし。吉田のバックハンドドライブ 決まり、3対6。吉田は徐々に安定しだし、5対7。なかなか点差詰まらず 、7対11で落とす。

第2ゲーム

出だし、吉田のチキータ 決まり 3対1とリード。瀬山のミスもあり、8対2とリードを広げる。10対3 とするも、瀬山粘り10対5。最後は 瀬山にミスが出て、吉田が押し切る。

第3ゲーム

吉田は徐々に先に攻められるようになり、3対1とリード。チキータと必殺のドライブが決まり、5対1とリード。横国大堪らずタイムアウト。流れは変わらず 8対2。瀬山は、突然ドライブが入り出し、8対7まで追い上げられる。なんとか流れを変えようとするが、一進一退で9対9。大逆転負けを辛くも逃れて、12対10で勝利。

第4ゲーム

出だしは瀬山にスマッシュを決められ、1対5。このまま瀬山のドライブの炸裂し、2対9に。そのまま押し切られ、3対11で第4ゲームを取られた。

第5ゲーム

出だしはドライブを決めあって、2対2の互角の展開。瀬山にバックハンドを決められ、2対5でチェンジコート。ダブルス科学大勝利により、試合中止。

東京科学大学対東京理科大学

第一試合　星野対関口

関口は右シェークドライブ。

第1ゲーム

相手のサーブに星野のレシーブミスが多く、3対5、3対7とリードを許す。

その後も反撃の糸口が掴めず、このセットは5対11で落とす。

第2ゲーム

出足はサーブで2対0とリードを奪うも、相手のサーブですぐに追いつかれる。

1セット目よりレシーブは良くなったが、相手に先に責められる展開が多く、5対7、6対10と徐々に離され、最後は粘るも8対11でこのセットを落とす。

第3ゲーム

出足から相手の攻撃が決まり0対4となったところで科学大がタイムアウト。

悪い流れを変えられず、1対5となったが、ここから星野が強気の思い切った攻撃を連発し、7対7と追い付く。

ここで一気に逆転したいところだったが、サーブを狙い打たれ7対11でゲームセット。

3セット目後半の攻撃が良かっただけに、惜しまれる敗戦。

第二試合 小濱対 酒井

右 シェイク 攻撃型同士の戦い。

第1ゲーム

小濱のサービスで試合開始。小濱は強烈なドライブを決めて 1対1。酒井のサービスをうまく処理できず1対3。小濱は、再び強烈なドライブを決め3対4。上手く繋いで 5対5 に追いつく。酒井の攻撃ミスもあり、7対5とリード。丁寧な 試合運びで押され気味ながら10対8とリード。ここでタオルブレイク。酒井の攻撃入り、ジュースに持ち込まれる。会心の3球目ドライブもブロックされて5球目がアウト。10対11で粘って取り同点も11対13で落とす。

第2ゲーム

出だし酒井の強烈な3球目決まるも、小濱も決め返し3対1。再び小濱の3球目決まり、5 対2。酒井のドライブを上手くブロックして、7対3。酒井のミスも出て、9対3と 大量リード。酒井の粘りに10対5まで挽回されるも、最後に酒井のミスが出て、11対5で取り返す。

第3ゲーム

小濱にミスが目立ち 1対3。小濱のブロックが効いて4対4。酒井のミスもあり 5対4 と 逆転。小濱の3球目 ドライブ 入るも 酒井も頑張り 7対7。小濱サービスエースで9ー9に追いつく。ドライブを決めあってジュース。ドライブを決められ 10ー12で落とす。

第4ゲーム

小濱3球目の強烈なドライブを決めるも2ー2．小濱の攻撃続き 5対2。酒井の攻撃 入るの 小濱 粘って8対4。そのまま押し切って 11対4。

第5ゲーム

ドライブを入れ合って 1対1。ドライブとバックハンド 入って 5対3でチェンジ エンド。小濱 今日一のスマッシュで6対3。酒井自滅で 7対3 、理科大堪らずタイムアウト。酒井は再び自滅し、9対3。 相手が勝手に崩れてきた。酒井に幸運なネットインが2本続いて、9対5。堪らず科学大タイムアウト。10対6から酒井のエッジ入り10対7。10対8まで追い上げられるも最後は小濱がドライブを決めて、11対8で逆転勝ち。 殊勲の勝利。

東京科学大学対東京理科大学 第三試合ダブルス本坊・小濱組対関口・松井組

第1ゲーム

本坊は中陣からドライブを決めて、1対0。本坊攻撃マンのようなドライブで4対1。小濱のドライブも入り出し 6対2。理科大組の攻撃が入り出し、9対7まで追い上げられる。最後は 本坊のデスカットで、11対7で先取。

第2ゲーム

出だしは双方 ミスが多く、2対2。科学大組にミスがなくなり、5対3とリード。本坊のデスカットが効いて7対4。小濱のサービスエースで9対6。理科大 組 奮起して9対9に持ち込まれた。 理科大にネットインが入り 9対10。そのままドライブを決められ 9対11で落とす。

第3ゲーム

流れを止めるサービスで1対1のスタート。理科大組のドライブにミスがなくなり、2対6。流れを止められず、3対7、5対9。最後まで流れを変えられず、7対11で再びゲームを落とす。

第4ゲー厶

流れ変わらず苦しい展開 で、1対2。理科大組にミスが出て 2−2に追いつく。科学大組にミスが出て、2対5と離される。タイムアウト後、本坊のスマッシュ 決まり、3対5。本坊のナックルカット 効いて7対8。小濱の渾身のドライブ 決まり9対9。小濱のドライブがネットエッジし 10対10。本坊の必殺 フォアイボカットが効いて11対10。本坊の3球目決まり、12対10で4ゲーム目 奪取。

第5ゲーム

出足本坊の３球目決まり、2対0 とリード。理科大の3球目が炸裂し2対2。理科大のエッジが入り、4対5でチェンジエンド。本坊のサービスエースで、5対5。小濱の今日イチのスマッシュ 決まり、6対5。小濱のドライブが3発入り、9対5。最後は本坊のデスカットで、ゲーム 終了。

第四試合　小野寺対小川

小川も左シェークドライブマンで同じようなタイプ同士。

第1ゲーム

立ち上がりは、小野寺のサーブが効き、3対0、5対1とリードを奪うが、徐々に相手もサーブに慣れてきて、6対5となる。

ここで小野寺踏ん張り、積極的に攻めてこのゲームを11対7で奪う。

第2ゲーム

出足は小野寺の攻撃が決まり3対1とリードを奪うが、相手の攻撃も決まりだし、5対5に追いつかれる。

その後も一進一退の攻防であったが、小野寺の方が積極的に攻めている分得点し、このセットも11対7で奪う。

第3ゲーム

相手が小野寺の攻撃に慣れてきて、なかなか決められない展開で、前半は3対3。

その後もお互いサーブからの攻撃で攻めるが、3球目を返され、7対7、9対9と離せない。

最後は相手に攻められ、このセットを9対11で落とす。

第4ゲーム

小野寺がコースを考えた3球目、返されても5球目、7球目と粘り強く攻撃し、6対2とリードを奪う。

ここで相手がタイムアウトを取るが、小野寺は攻めの手を緩めず、そのまま11対4で勝利。

積極的な攻めが目立つ、会心の勝利。

東京科学大学対宇都宮大学第一試合　三宅対尾崎

第1ゲーム

相手 尾崎 ドライブの威力十分も2本ミスが続き 21でリード。中盤逆転され 8対10。9対10まで責めるもおしくも 第1ゲームを落とす。

第2ゲーム

三宅 好調。

第3ゲーム

尾崎のドライブ 炸裂。

第4ゲーム

尾崎のサーブに手こずる。おそらく 最後は攻めて 勝利し2対2。

第5ゲーム

出だし ドライブを決め合い3ー3。尾崎リードでチェンジエンド。中盤 逆転し 10対8でリード、最後3球目の今日ドライブを決め、そのまま逃げ切り。殊勲の勝利。

東京科学大学対宇都宮大学第二試合　本坊対

第1ゲーム

出足 本調子じゃなく、前半リードされるも逆転勝ち。

第2ゲーム

相手にカットのミスが続きゲームを取る。

第3ゲーム

まだ本坊は本調子ではないが、何とか接戦でもぎ取り 3ー0で 勝利。

相手のショートシングからのドライブ・スマッシュに悩まされる。

東京科学大学対宇都宮大学第三試合ダブルス

第1ゲーム

本坊が1番とは見違える動き、デスカット炸裂。9ー5と リード。そのまま押し切る。

第2ゲーム

結果わからず。多分取った。

第3ゲーム

4対1でリードしたところで、宇都宮大学 タイムアウト。9対5から2本取られ、科学大タイムアウト。そのまま押しきり、3対0で科学大勝利。

東京科学大学対宇都宮大学第四試合 小野寺対足立

第1ゲーム

出だし お互いのドライブを決め合い2対2。互角の戦いもどちらが勝ったかわからない。

第2ゲーム

どちらが取ったかわからず。

第3ゲーム

取られた？

結果、ゲームオール 11対9で惜しくも破れたが、3-0で科学大が勝利したため参考記録。

東京科学大学対群馬大学第一試合　三宅 対古川

第1ゲーム

出足リードされるも中陣からのカウンタードライブ 決まり2対3。YGでサービスエース、その後逆転し7対6。しかし逆転を許し、7対10、9対10まで 食い下がるも第1 ゲームを落とす。

第2ゲーム

古川のドライブに手を焼くも、5対5まで食らいつく。三宅、9対8から痛いサーブミス。三宅のドライブがネットして10 対10。最後 古川に 3球目を決められ、10対12で2ゲーム目も落とした。

第3ゲーム

出足三宅のドライブが決まり、3対2と初めてリード。三宅の3球目決まって、6対6。レシーブドライブが決まり 7対6。YGサービスエースが出て9対7。相手のミスも出て、11対7で1ゲーム返した。

第4ゲーム

YGが効いてきて、4 対2とリード。古川のドライブ を止めて、8対5。古川 スマッシュ 決まり9対10 とマッチポイントを取られる。1本 もぎ取ってジュース。３球目決まって14対13。最後の1本が取れず、15対17で逆転負け。

東京科学大学対群馬大学第二試合　本坊対高橋

第1 ゲーム

幸先よくサービスで2点リード。午前中よりカットが安定してきており、7対4。10対9まで追い上げられるも第1ゲーム先取。

第2ゲーム

出足で高橋のドライブが炸裂し、0対5とリードを許す。その後奮起して 7点 連取。そのまま押し切って、ゲーム連取。

第3ゲーム

本坊のカットは安定しており、6対4で群馬大、堪らずタイムアウト。しかし流れは変わらず、このまま押し切って11対6で勝利。

東京科学大学対群馬大学第三試合ダブルス　本坊・小濱組対名嘉高橋組

第1ゲーム

相手ミスが少なく、5対6。粘り強く戦って、7対7。15対13で先取。

第2ゲーム

小濱のドライブ 決まり3対2。本坊の軽打が フェイントとなり7対4。小濱、飛びつきショート ファインプレーが出て、10対6。そのまま押し切って11対6。

第3ゲーム

本坊のサポート回し決まり、1対0。双方ドライブが入りだし、4対4。小濱のパワードライブ決まり、7対6。9対7となったところで、群馬大タイムアウト。流れ変わらず、11対7で押し切る。

4番星野対名嘉

第1ゲーム

ペン名嘉のスマッシュ 炸裂し、あっという間に9対3。ここで星野のドライブが決まりだしジュースに持ち込む。縺れたが、13対11で見事に逆転勝利。

第2ゲーム

星野のドライブが安定してきて 8対3と リード。

サービスエースも決まり 10対3。このまま押し切り 11対3。

第3ゲーム

前半は一進一退の展開。お互いミスが少なくなってきた。7対5とリードしたところで、群馬大堪らずタイムアウト。しかし流れを変えるには至らず、10対5。そのまま押し切って科学大の勝利を決定 付けた。

5番小濱対 吉原

第1ゲーム

小濱の3球目決まり 2対0とリード。そのままほとんどミスなく、11対3で押し切る。

第2ゲーム

好調な小濱はほとんどミスなく、9対3とリード。2ゲーム目も、 順調に連取。

第3ゲーム

1、2ゲームと違って 競り合いの展開。4対4から吉原が抜け出して 4対6。頑張って 小濱が追いついて 7対7。ここで第四試合の星野が勝ち、3-1となり、試合中止。

東京科学大学対 茨城大学第一試合　星野 対鈴木

第1ゲーム

星野会心のバックハンド 決まり、2対0。星野スマッシュ決めるも、鈴木の癖玉に手を焼き、7対7。会心の チキータとバックハンドドライブを2本 決めて 11対9で1 ゲーム目先取。

第2ゲーム

星野第2ゲームも落ち着いた戦いで 5対3 とリードするも、鈴木のスマッシュ入り、5対6と逆転される。鈴木のダブルスマッシュを食らうも、すかさず チキータでお返し、7対7。ここから離され 、8対11で落とした。

第3ゲーム

星野、出だしスマッシュを 2発決め2対0とリードも、ナックルに手を焼き、2対6。6対10と点差縮まらずここから2本取って8対10としたが、8対11で敗れた。

第4ゲーム

0対3とされたところで、科学大堪らずタイムアウト。その後の1本もレシーブ スマッシュを決められる。鈴木のスマッシュにミスが出て5対6まで挽回。しかし続かず、6対9。8対9まで挽回も8対10とされ、そのまま押し切られた。

東京科学大学対 茨城大学第二試合本坊対吉岡

第1ゲーム

本坊、サービス エースで5 対3。8対4から9対8まで追い上げられ、ジュースに持ち込まれる。その後、相手のドライブを落ち着いて捌いて、14対12で1ゲーム目先取。

第2ゲーム

第2ゲームに入り本坊のカットの安定感が増し、7対4とリード。そのまま11対7で2ゲーム先取。

第３ゲーム

8対4としたところで茨城大、堪らずタイムアウト。流れは変わらず11対5で勝利。

東京科学大学対 茨城大学第三試合ダブルス本坊・小濱組対鈴木・滝井組

第一ゲーム

出足は科学大組にミスが出て、2対4。ここから4点 連取され2対8。点差縮まらず 4対11で第1ゲームを失う。

第2ゲーム

鈴木の癖玉に手を焼き0対3とリードを許す。流れ変わらず 3対7。そのまま3対11で2ゲーム目も取られた。

第3ゲーム

悪い流れは変わらず出だしで0対4。今まで入っていた 本坊のスマッシュが入らず 2対6。茨城組の2連続ネットインなど運にも見放され、4対11で敗戦。

東京科学大学対 茨城大学第四試合　小濱対滝井

第一ゲーム

瀧井の匠の玉捌きで1対3。小濱がサービス決めて、6対7。幸運なネットインでチャンスを掴み 9対8。10対8にするも相手の3球目で追いつかれ、ジュース。瀧井のドライブ 決まり 11対13で 第一ゲームを失う。

第2ゲーム

バックの責め合いからドライブを決め、1点先取。その後、瀧井に安定感のあるドライブを決められ、3対6。サービスエースで食いつき、5対7。点差縮まらず、7対11で2ゲーム目も失う。

第3ゲーム

流れを変えられず 0ー3 とされ、科学大たまらずタイムアウト。タイム アウト後の1本は奪取。勢いをつけ、3対3に追いつく。一気に7対3と逆転。9対4まで差を広げたが、9対7まで挽回された。流れは止められず、一気に9対11で逆転負け。この時点で1-3で敗戦が決定。

5番 小野寺対古寺

第1ゲーム

小野寺、丁寧な試合運びで4対1とリード。このまま押し切り 11対6で先取。

第二ゲーム

古寺のドライブ 入り出し、6対9 と リードを許す。そのまま 6対11で2ゲーム目は失う。

第3ゲーム

ドライブの引き合いで 7対6とリード。10対9から レシーブミスし、ジュースに。大事なところでブロックを決め 12対10で第2ゲーム奪取。

第4ゲーム

4番が終了し 1-3で科学大の敗北が決定し、試合中止。

リーグ戦結果は、東京科学大、茨城大、東京理科大が４勝１敗の同率で並び、対戦者間の勝率の順番で１位：茨城大、２位：東京理科大、３位：東京科学大となった。